

あいちの印刷

5

2014.5
No.510



樽池高原の水芭蕉

も く じ	巻頭言「安心を備えよう」	3
	■愛印工組／「新入社員研修会」始まる	4
	松石講師の講演より	
	「仕事の覚え方」、「新入社員の行動10則」	
	■page2014基調講演より／「印刷通販最前線」	6
	プリントネット(株) 小田原社長／特徴を持った印刷通販!	
	北東工業(株) 塚脇部長／ビジネスパートナーとしての印刷通販!	
	(株)吉田印刷所 吉田社長／新たな印刷物の価値を提供	
	■身近な催し物のお知らせ	9
	■日印産連<デジタル印刷に関するアンケート調査実施>	10
	■愛印工組・4月期理事会／	
	総代会(5月16日)上程議案を審議	12
■補助金情報／ものづくり・商業・サービス補助金	13	
■日印産連／2014年「9月印刷の月」PRポスター募集	14	
■お知らせ	14	
■編集だより	14	

E
&
F
P

体感してください。
印刷現場の歴然とした
変革効果をも。

オフ輪・枚葉の「損紙削減・乾燥促進」印刷

Eco & Fast Printing

FUJIFILM環境対応CTPプレート+湿し水による新提案

FUJIFILM 80th Anniversary
Value from Innovation

Eco&Fast Printingとは…
コストダウン(損紙・インキ削減)、印刷機稼働率アップ、品質安定化を実現する印刷工程改善サポート活動です。

FFGSは、印刷会社の課題解決をさまざまな角度からお手伝いいたします。

Eco&Fast Printing セミナー・勉強会
印刷機の適切なメンテナンス方法やチェックポイントなど、実践のための要点を、セミナー形式でわかりやすく解説します。

印刷機診断
課題を“見える化”するため、印刷機の状態を診断・分析。最適な改善策を提案します。

実践サポート
改善策をより効果的に実践できるよう、FFGSのプリンティングアドバイザーが印刷現場できめ細かくアドバイスを行います。



富士フイルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

リョービMHI

グラフィックテクノロジー株式会社

お客様と共に。

リョービ株式会社と三菱重工印刷紙工機械株式会社は、
オフセット枚葉印刷機分野の事業を統合し、
新会社となって印刷機器業界を革新します。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市長区久方1-145-1 TEL 052-807-1671 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。

eRC SERIES

ITOTEC

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

イトーテック株式会社

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 大阪府市中新网2-13-16 TEL 0729-66-3330 FAX 0729-66-3323 〒578-0911
四国営業所 愛媛県西条市豊岡町長田216 TEL 0896-25-1302 FAX 0896-25-1344 〒799-0435

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎心頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

「安心を備えよう」

組織・共済委員長 岩瀬 清

2013年は、アベノミクスの始動、東京オリンピック・パラリンピックの招致成功など、日本経済に明るい兆しを感じる事が出来ました。金融緩和、財政出動に続く、第三の矢たる「成長戦略」を成功させ、デフレからの脱却を実現できるかどうか今年最大の焦点だと思われます。

業種間での格差解消や中小企業を含めた雇用の回復や賃金への反映はこれからであり、所得増税以後の不透明感はまだまだ続くと思われます。

私達をとりまく経営環境は本年度も、大変に厳しいものが予想されますが、さらなる変革・革新を目指し、組織・共済委員会が一丸となって一層の努力を重ねて行く所存です。

こうした厳しい環境にあつてこそ経営者は、社員の将来をどう構築するか考えなければなりません。組合は、様々な保険会社と取引があります。その保険会社は、個別の会社や個人の不測の事態に備える保障を提供すると同時に、組合の運営に欠かせない存在になっています。組合員企業のニーズに応じた様々な保険を低価格でご用意しております。予期せぬ災害や事故があつても保険に加入していれば、継続して事業が出来ます。現在加入してみえる保険の見直しも含め、是非この機会に保険の加

入についてご検討をお願い申し上げます。

「保険の営業とは・誰のためのものなのか？」保険とは本来、弱者を守る為のものです。しかし現実には、自分の加入している保険の内容について知らないままの方も大変多く、同じような保険に何本も加入していたり、税制上の優遇を期待していたのにその適用が受けられなかったり・・・その方にとって本当に必要な補償がついていないことすらあります。いざという時に守ってくれない保険など意味がありません。

いざという時に、きちんと守ることのできる保険をプランニングし、ご提案する事が私達の役目です。考えられる選択技はすべてお伝えします。

組織・共済委員会として、生命共済・総合設備共済及びがん補償を新たに付加した医療&がん共済やメンタルヘルスクエアを備えた医療保険を中心とした各共済制度の積極的な加入促進を行っていきます。併せて、組織関連情報の収集提供を行い、組合機能の強化に努めて参ります。組織運営の一環として全国事務局研修会の開催にも力を注いで参ります。以上組合員の皆様とともに組合運営を遂行してまいりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

こんな加工
できる...

困ったな...

こんな
お困りの方

私たちが
中部No.1のスピード納品
尚友社が
試作品無料にて作成いたします

しどう
しよう...

どこに相談
したら...

創業
大正8年の
実績と信頼

和洋特殊美術製本

有限会社 尚友社製本所 / アイデア創作工房
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目14番19号 富田ビル
TEL.052-301-9900 FAX.052-301-9940
<http://www.shoyusha.co.jp>

愛印工組

「新入社員研修会」始まる

1日8時間、新入社員としての規律・礼節について学ぶ
4月から9月までの6ヶ月間の長丁場



新入社員研修会で挨拶する木野瀬理事長

愛印工組の平成26年度「新入社員研修会」が、4月2日メディアーヂュ愛知においてスタートしました。初日は、午前9時30分から午後6時30分までの8時間にわたり、「新入社員基礎研修(規律・礼節)」について学びました。講師は、中部企業教育研究所松石裕就代表が務めました。参加者は29名でした。(なお、今回の新入社員研修会は7講座、14教科、292時間のカリキュラムで開催されます)

開始にあたり挨拶した木野瀬理事長は、「皆さんは印刷会社の1年生として新入社員研修に参加しています。それぞれの企業が費用を負担し研修を受けさせてくれています。それは皆さんへの期待があるからです。その期待を裏切ることなく十二分に学んでいただきたい。職場では苦しいこと辛いことがあるでしょう。それにひるまず今日から学ぶことを仕事に生かして下さい」と激励しました。

2日から始まった講座は、共通コースとして、職種に関係なく「印刷会社の新入社員としての基礎」を3日間にわたり学ぶもので、新入社員が身に付けておかなければならない「規律」と「礼節」について、松石講師からレクチャーを受けました。いずれの日も1日8時間の教科内容が組まれています。教科の具体的内容は、1日目は、「社会人とは」と題し、社会人の一歩・心がまえ・集団行動訓練など。2日目は、「会話の基礎」と題し、スピーチ・マナー訓練・チームワーク・電話対応など。3日目は、「自主自立」と題し、自己啓発・行動基準・情報の収集・まとめなどが行われました。

さらに、4月7、8の両日は7時間にわたり、職場での実践活動となる「はじめての5S活動・改善活動の基本・はじめての品質管理」について行われました。

印刷に関する基礎知識講座も4月9日からスタートし、4日間1日7時間にわたり、印刷の歴史、印刷物制作工程の概要、色と光、文字・画像・刷版、後加工、印刷用紙、さらには、

印刷産業概論、印刷物制作の基礎知識、印刷技術の基礎知識、DTP制作の基礎知識、印刷の常識・非常識などについて学びました。

■活用できる助成金制度

新入社員研修会でこれからの活用申請が可能な助成金制度がありますのでお知らせします。

◎印刷会社の印刷現場で働く社員として必要な基礎知識を学ぶ「製造コース」

◎WEBコンテンツ制作担当者として必要な知識と技術を学ぶ「制作(中級)・WEBコンテンツコース」。

◎WEBコンテンツ制作担当者として必要な知識と技術の要点を再確認する「制作(中級)・WEBコンテンツコース／フォローアップ」。

上記コースから20時間以上参加の場合に活用が可能です。

新入社員及び既存社員の人材育成については、助成金活用と合わせて検討していただくことをお勧めします。

1	若年人材育成コース / 採用後5年以内かつ35歳未満の社員
	・ Off-JT (社外研修) のみ助成対象 ・ 研修会への出席時間20時間以上であること ・ 現時点で4月1日採用者でも、研修初日の月日によっては申請が間に合う。 (原則として1か月前に計画届を提出 愛知労働局) ・ 助成内容 賃金助成 Off-JT 1時間あたり800円 訓練経費(受講料)助成 実費相当額の1/2
2	一般訓練型 / 年齢要件なし
	・ Off-JT (社外研修) のみ助成対象 ・ 研修会への出席時間20時間以上であること ・ 現時点で4月1日採用者でも、研修初日の月日によっては申請が間に合う。 (原則として1か月前に計画届を提出 愛知労働局) ・ 助成内容 賃金助成 Off-JT 1時間あたり400円 訓練経費(受講料)助成 実費相当額の1/3

助成金についての問い合わせは、愛知労働局「愛知雇用助成室」(TEL052-688-5758)まで。その際に、「キャリア形成促進助成金についての問い合わせ」と伝えて下さい。または、愛印工組(TEL052-962-5771:勝野)までお尋ね下さい。

※新入社員研修会のカリキュラムは「あいちの印刷」1月号に掲載しております。また、愛印工組ホームページからの検索も可能です。受講希望の講座があれば愛印工組に申し込みをして下さい。



講師を務めた松石裕就氏

新入社員研修会・松石講師の講演より、「仕事の覚え方」、「新入社員の行動10則」を紹介します。

□仕事の覚え方

①素直に教えて貰おう。

入社して職場の配属が決まると、先輩や指導員の人が、仕事や作業について、基本から教えてくれます。皆さんにとっては常識的なことや、良く知っていることもあるかも知れませんが、アルバイトで経験しているとか、自分の方が年上の場合もあるかも知れません。でもその職場ではあなたが一番の新人なのです。また職場にはその職場のやり方があります。知っていることでも、謙虚な態度で素直に明るく指導を受けるようにしましょう。

②基本を忠実に守ろう

職場では新人なので、最初からベテランの人と同じ仕事を誰も望んではいません。どんな大抵者でも、監督のサインがあれば、バントで走者を進める基本に忠実なプレイが要求されます。PDCAのサイクルを守って、基本に忠実に進めるように心掛けましょう。

③わからないことは、何でも聞くようにしましょう。

入社して、3ヶ月くらいは、上司や先輩に『わからない事』は何でも聞くようにしましょう。“聞くは一時(いつか)の恥、聞かぬは一生の恥”ということわざがありますが、忙しく働いて

いる人たちに遠慮したり、質問をするタイミングが見つからないため、自分流に解釈して間違っただけをやるよりは、とにかく質問することです。ただし質問するときは相手の状況を見て下さい。そして“すみませんが、ちょっと時間を頂けませんか?”とか“今よろしいでしょうか?ちょっと教えて頂きたいことがあるのですが”などのひと声を添えることを忘れないで下さい。聞いたことや教えて貰ったことは、必ずメモを取り、しっかりとマスターしよう。そうすれば職場の人たちも、快く教えてくれるはずですよ。指導の内容ややり方についてはその場でメモを取っても決して失礼ではありません。

④失敗したときは

どんなに一生懸命に仕事をして、失敗をすることはあります。そこで大切なことは失敗したときの対応の仕方です。次のルールを守るようにして下さい。

1)失敗に気付いたら、すぐに先輩や上司に報告し、指示を受けること。2)お客さまや外部の人に迷惑をかけた場合は、その場でおわびをすること。3)失敗の原因を考えて突き止めること。そして同じ失敗を二度と繰り返さない対策を立てること。4)失敗したときに、ときには先輩や上司から叱られることがあります。その時の態度がその後の人間関係を左右します。“不貞腐れず”“落ち込まず”、そして“立ち直りを早くする”などが大切です。

□新入社員の行動10則

□挨拶は大きな声でしっかりします。□自分が呼ばれた時は、“ハイッ”と元気よく返事をします。□会話をする時は、自然体で相手の目を見て話します。□先輩や上司の名前を早く覚えます。□報告・連絡・相談を徹底します。□時間は全て5分前に励行します。□言い訳をしないようにします。□素晴らしいマナーと笑顔を身につけるように努力をします。□明るく、きびきびとした態度・動作を心掛けます。□職場のルールは、厳守します。



NEXT GENERATION GRAPHIC ARTS

変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DICグラフィックス株式会社

http://www.dic-graphics.co.jp/

本社 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101ワテラスタワー
電話03-6733-5001
名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15
電話052-951-9336

「印刷通販最前線」



印刷通販に学ぶ 印刷通販を活用する

公益社団法人印刷技術協会が毎年開催している展示会に「page2014」がある。機材展にあわせ各種の講演やセミナーが開催され、印刷及び関連する最新情報が提供された。その中で、「印刷通販最前線：印刷通販に学ぶ、印刷通販を活用する」と題した講演が行われ、聴講する機会を得たのでその要旨を紹介する。

講演では、印刷通販事業を展開するプリントネット(株)(小田原一社長・鹿児島市)、北東工業(株)(東條秀樹社長・大阪市／発言者：塚脇一輝事業推進部長)、(株)吉田印刷所(吉田和久社長・新潟県五泉市)の3社から、現状と将来展望が披露された。3社共通する点は、「価格を下げ数多くの仕事を集めるビジネスモデルに限界を感じ、自社にしかできない強みをアピールし、他社との差別化を図る」方向が強調されたことである。

最安値競争は限界／独自の強みを発揮し他社との差別化

特徴を持った印刷通販！

プリントネット(株)
小田原社長の発言要旨

■プリントネット(株)は1968年鹿児島県始良町で活版印刷業として創業。当時は地域の官公庁や民間企業からの印刷物を受注していたが、鹿児島の市場も厳しい環境にあった。地域密着型のビジネスに限界を感じ自主廃業か前進かの選択を迫られた。前進することを選択し、2005年に楽天ビジネスを通じてインターネットの受注を開始。ネット通販ビジネスに参入した。当時は、冊子関係や部数の多いチラシを受注していた。ただ、小ロットの印刷物ではあまり期待するような価格での受注はできなかったため、ギャング(多面付けによる印刷)による印刷を考え、小ロット向けの印刷通

販をスタートさせた。まず、2006年に鹿児島第2工場を操業、2007年に東京西工業団地の土地を取得し工場を建設、翌年創業を開始した。そして2008年に現在の社名「プリントネット(株)」に変更した。

■リスクを覚悟して攻め続けた。今は既存のビジネスを切り捨て印刷通販ビジネス100%に転換している。

■自社工場に加え、現在提携しているアウトソーシング工場が全国で枚葉5工場、輪転3工場。プリントネット(株)と同様にJapanColor基準の認証を受けている。これらの協力工場は2ヶ月に一度、テストチャートによる品質管理で品質維持に努めている。

■当社をはじめ利用されるお客様は不安があり、その不安を払拭するために、お客様との信頼関係構築に取り組み、「お客様は確実な製品を確実な納期で受け取って当たり前。

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



品質重視、納期厳守、お客様との信頼関係を重視しております」と訴えた。

■2008年に東京西工場を稼働させ、首都圏での短期納期受注で勝負をかけた。これをやり遂げないと会社の将来もないし、従業員も豊かになれない。資材の仕入れ、運送会社も決まらないまま、スピード、スピードで走り回った。しかし、リーマンショックの影響で売り上げが下降し、辞めるべきか迷ったが、代表者は私であり責任は私にあるとの想いで、マーケティング、商品開発など必死に取り組んだ。工場もお客様からの要望全てに応えた。その甲斐あり、リーマンショックで落ち込んだ業績が4ヵ月後には回復した。通販を始めたときは1億5,000万円の売り上げの会社であったが、今期は約40億の売り上げを予想している。

■教育強化に取り組んでいる。取り組みの経緯は、急激に売り上げが伸び社員も2倍に増えた。ところが、コスト削減に無頓着になり、資材調達や管理も大雑把になっている。会社全体が売り上げのみを追いかける状況に陥り、いつの間にか品質も悪くなり、ミス、クレームが多発した。悪いのは、それを社内で隠すようになり、経常利益も下がった。こうした環境を打破するための手段である。教育強化に努め、徹底した5Sの継続化を図っている。

■ミス対策としては、ミス作業者をグラフ化している。これはミスを隠す習慣があり、まずこれをなくすことで、各課、各人がミス件数、ミス金額などをグラフ化しミス内容を開示。これにより全社員がミスの原因を把握できるようにした。つまり、ミスの見える化である。同じミスは2回で赤紙の始末書、3回で社長面談を行なっている。1%までのミスは認めるが、1%を超えるミスは6ヶ月間の合計で賞与を削減する。一番多い時は約3%あったミスが、昨年は1%を切った。

■印刷設備では、両面機は東レの水なし平版を使い見当精度に対応。UV機も使用し速乾印刷にも取り組んでいる。短期納期と小ロットものに使用している。また、印刷機にローラーフィーダーをドッキングして紙を削減、こちらは、当日発送やロングラン物に使用している。いろいろな印刷方式を採用することで、作業効率の大幅アップを図っているが、要は、メンテナンスが重要である。

■今後の印刷通販の行方を予測すると、このまま推移すれ

ばオフ輸業界と同じように、設備過剰になり、利益を上げることが難しくなる。その時、他社と差別化できるものを持っているかが問われる。価格だけではいずれ限界がくることから、今後は、各社が特色を活かした時代になってくる。

ビジネスパートナーとしての印刷通販！

北東工業(株) 塚脇部長の発言要旨

■北東工業(株)は1969年創業。製版フィルムの制作を主力に低価格での提供により事業を拡大した。1995年にDTPの出力業務をスタートし、当時からISDNを使いデータ通信を行っていた。徐々に利用が増えるのをみて、これからは人間が動くのではなく、データ通信を利用すれば、利便性が上り、時間もコストも削減される。そこで、データ入稿を行うために大阪の各所にある営業所をWeb上に展開できないかと考えた。これがプリントビズに繋がるが、最初は、Web営業所プロジェクトという形でスタートした。ところが、市場の冷え込みで、営業所自体の売り上げも低迷し始めた。そこで、2006年に本格的にWeb営業所プロジェクトをスタートさせ、2007年にプリントビズがオープンした。コンセプトは、「安心のインターネットプリンター」である。

■プリントビズの広告では、「安い」「早い」「きれい」などという言葉は極力使わないようにしているが、しかし、「安心」という言葉では訴求しづらい。もともとBtoBで行ってきた会社なので、安いだけ、早いだけというようなことだけではなく、お客様が安心して利用できる印刷通販を目指した。

■スタートのときに価格を調べた。印刷通販1件あたりの商品単価は2006年当時で25,000円といわれていた。そのくらいの単価なら十分採算が取れるとみて、実際に行くと、1件あたり大体30,000円前後になっていた。ところが現在は、14,000円から15,000円と当時に比べると半分以下になっている。これで利益を出していかなければならないので、内部的にさまざまなコスト削減を行っている。

■印刷通販で難しいのは、付け合せ率を増やそうと思うと受注件数を増やさなければいけない。受注件数を増やそうと

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

菊半裁4色印刷機

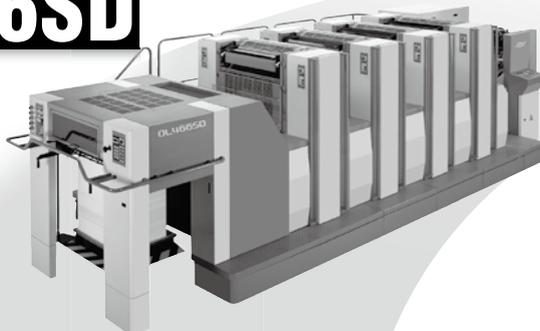
LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、

逆くの字胴配列を採用した

正菊半サイズの省スペース機



大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



ISO 9001:14001 認証取得
生産現場本部

すれば、単価を下げなければ数が集まらない。使用する紙もコートだけ、マットコートだけなどと絞ればいいが、そうすると商品の種類が少なくなる。商品の種類を増やしていくと今度は付け合せ率が非常に悪くなる。こうした状況があるので、利益を上げるのはなかなか難しい面がある。

■印刷関連企業をお客様にしてきたが、印刷通販を行う以上、「印刷業界の方以外は受付できません」というわけにはいかない。そのためターゲットが不明確になってしまった。一般の企業もあれば学生もあり、そういうお客様に印刷会社なら当然知っていることを求めても非常に難しい。こうしたことから、素人のお客様でも分かるような工夫をしている。よく質問されることに、「紙はどんな紙がいいですか」ということがある。そこで、一般的によく使われる用紙や納期、枚数などが商品を選ぶと表示され、その中で好みに合わせて細かく選べるようなサイトを目指している。

■価格は、これ以上コストを下げて対応することは難しいので、他社より大きく隔たりがない程度で価格改定はしていく。従って、利用してもらうためには価格以外の何かが必要になる。それは安定した品質だと考えている。もともと「安心のインターネットプリンター」を打ち出しており、プリンターとは誰もが簡単にできるし、基本的には同じ形で出てくる。そうした品質をアピールしていく。本当にプリンターを使う感覚でプリントビズを使ってもらおう。

■品質を安定させるためにいろいろな取り組みを行っている。例えば、GCR印刷を導入しているが、これはスミ版基調の印刷で、これにより刷り出しから刷り終わりまで安定した印刷ができる。また、水なし印刷の導入により、非常に効果が上がっている。水を使う場合におけるオペレーターの負担や不安が、水を使わないことで負担が減り、しかも安定した印刷ができる。ちなみに、水なし印刷でのJapanColor認証を取得している。

■当社では、印刷技能検定を利用しオペレーターの技能アップを図っている。技能士取得については手当を設けて支援している。現在、1級技能検定士7名、2級2名のオペレーターがおり、半分以上が印刷技能士の資格を持っている。

■印刷機メーカー、プレートメーカー、インクメーカーなどと協力し、LED-UV水なし印刷にも取り組んでいる。これに成功している会社は今のところ他にはないと思う。まだ、完成したわけではないが実用化は近く、将来的に非常に期待している技術である。

■印刷通販を運営してみて、一般的なネット通販とは一部違う部分もあるというのが正直な感想である。量販店型の印刷通販は非常にいいと思う。プリントビズもこの形でスタートしているが、しかし、競争も厳しく、単に、「何でもある、何でも揃う」というだけでは特徴を打ち出すことはできない。本当にビジネスパートナーとして選んでもらえるよう、BtoBをより意識したシステムを構築し、お客様の印刷物を引き受けて、コスト、品質、いろいろな面で総合的にサービスを提供していく印刷通販にしていきたいと思っている。

新たな印刷物の価値を提供

株式会社 吉田印刷所
吉田社長の発言要旨

■株式会社吉田印刷所は新潟県五泉市にある。1997年に小ロットのカラー印刷の仕事を全国から受注しようというビジネス展開を考えた。今の印刷通販の先駆けだと思っている。2000年に印刷通販サービス「特売プレス」を開始(2010年に「トクプレ」に名称を変更しリニューアル)した。

■印刷通販がこれから生き残るには差別化が必須となる。安くさえすればお客様が満足するなどといった、今までと同じ印刷物の価値を提供しては始まらない。お客さんが安く仕入れたとしても、果たしてそれで、目的どおりに品物が売れるか、また、求める結果が得られたのかということである。これからは多少高くても、お客様の求めに叶う印刷物を提供することが重要だと考える。

■“他社にはできない吉田印刷だからできるもの”を作っていきたいと、さまざまな取り組みを行っている。そのために、世界で一番ムダを出さない印刷会社を目指している。なぜなら、独自技術を立ち上げるためには、ムダを徹底的に排除しなければ何もできないとの思いがあり、全ての部署でムダを削減する取り組みを行っている。

■取り組みの一つに「ストック&フレッシュ」がある。印刷物はロットが大きいほど単価は安くなるので大部数を作って在庫し、必要な時に在庫の中から出荷するという考えであった。これを当社では、在庫ではなく、注文をストックする、との考えで、この仕組みを提供している。大量印刷&在庫では、お客様も我々も、多くの印刷物が一度も使われずに、廃棄されるとの事実を承知している。だからこそ、印刷会社は捨てることのない印刷物を作らなければならない。「ストック&フレッシュ」はお客様から高い評価をいただいている。

■「ストック!&フレッシュ」は、一度に大量に印刷する無駄をなくし、情報鮮度の高い印刷物を分割して提供する方法である。例えば、10万部のカタログなら1万部を10ヶ月に分けて印刷するという考え方である。一度に作成することが常識だったことで、刷り終わったものは変更があっても直せない。しかし、この仕組みであれば一度に全部作らないため、

圧着DM製作~宛名印字・投函まで

社内一貫生産

圧着ハガキ専門!!

品質に安心 築く信頼
株式会社 メイセイプリント
1700682(02) 株式会社
〒452-0037 愛知県清須市枇杷島駅前東一丁目3番地3 TEL(052)503-3091 FAX(052)503-2557

修正が起きても次のオーダーの時に直しができる。直した印刷物を“改訂版です”と届けることができ、これによって、印刷物を発注するお客様が顧客対応姿勢を評価され、売り上げアップに繋がったケースが現実には起きている。勿論、印刷代金もオーダー時ごとの支払いになるので、お客様にとっては大きなメリットになる。

■また、お客様との事前の打ち合わせで、印刷は当社の好きな時に刷らせてもらっている。これによって、受注産業である印刷業でも計画生産が可能となる。このような形で仕事ができれば効率も上がる。単に低価格でお客様に寄与するということではなく、それとは違う部分での利便性や可能性を提供すべきだと思っている。それらに取り組みることによって、印刷物の可能性が広がり、ペーパーメディアでも十分に活躍の場ある媒体になれると信じている。

■2011年に新本社工場が竣工し、通常の油性インキを使用していた乾燥促進技術の完全立ち上げに至った。この技術確立に10年ほどかかった。これらの技術を応用して当社が取り組むもう一つが薄紙の印刷「スーパーライトプリント」である。一番薄い紙で厚さ0.03mmであるが、現在、0.024mmまで印刷ができる。この薄紙印刷によって、今までとは違う市場が開けるし、新しい価値が生まれる可能性があると考えている。例えば、パッケージ会社とのコラボレーションで、箱だけではなくその中に入れる内容物を薄紙でラッピングするなど、厚紙と薄紙を組み合わせることで新たな価値が生まれる。

■顧客目線に立つことは大切で、お客様が印刷物に対して何を求めているかを見極め、どのようなサービスでそのニーズに応えていくかが印刷会社、印刷業界に問われていると思う。それには後ろ向きになるのではなく、常に前向きになって、自社の今後の仕組みを見直し改めることで、これまでできなかったことができるようになる。そうした考えでチャレンジしていけば、きっと新しい結果が生まれるはずである。

■当社の薄紙印刷への取り組みもそうであるが、持つべき武器は技術力である。その技術力をもって何を作るのか、何を訴えるのか、一人ひとり、一社一社が真剣に考えて、印刷の未来を明るくものにしていける必要があるのではないかと考えている。

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
4月2日(火)～ 9月9日(月)	事業名	印刷会社の社員研修会
	場所	愛知県印刷工業組合ホームページで
	参加費	ご確認ください。
	定員	随時
6月10日(火)	事業名	H26年度 断裁機オペレーターの「特別教育(学科)」
	場所	メディアージュ愛知 3F会議室
	参加費	※詳細調整中
	定員	
7月2日(水) 14:00～ 15:30	事業名	経営幹部・営業部門のためのMUDセミナー
	場所	メディアージュ愛知 3階 会議室
	参加費	無料
	定員	50名
7月9日(水) 13:00～ 18:00	事業名	Adobeテクニカルセミナー 夏の陣
	場所	ウイングあいち 1202会議室
	参加費	購入社(ライセンス購入人数まで無料、 それを超える人数5,000円/1人) 未購入社:5,000円/1人
	定員	
9月7日(日)	事業名	従業員・家族合同リクリエーション大会
	場所	岐阜県「都上で謎解き探検」
	参加費	※詳細調整中
	定員	
9月13日(土)	事業名	MUD教育検定 3級
	場所	ウイングあいち
	受験料	※詳細調整中
	定員	

●身近な催し物のお知らせ(関連団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
5月30日(金) 8:00～ 21:40	事業名	平成26年 日本印刷学会中部支部 印刷工場見学会
	場所	金羊社 御殿場工場・ FFGS WING CITY ashigara
	参加費	7,000円(お一人様・昼食付)
6月13日(金)～ 6月14日(土)	事業名	中部地区印刷協議会 26年度上期会議(石川県)
	備考	※詳細調整中

●平成26年度通常総代会のご案内

通常総代会は5月16日(金)名古屋観光ホテルにおいて開催します。15時30分より協同組合総会、16時より工業組合総代会、18時より合同懇親会のスケジュールです。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

138社で合計464台保有 カラー機とモノクロ機で異なる導入促進の条件

一般社団法人日本印刷産業連合会(足立直樹会長、日印産連)のデジタルプレス推進協議会(相馬謙一座長)は、2010年から実施している「印刷業界におけるデジタル印刷に関する調査アンケート」の調査結果をこのほど発表した。同調査は、印刷業界における生産機としてのデジタル印刷機の利用状況を調査し分析することで、利用率の向上へのヒントを提供していくことを目的に実施されている。同調査結果の内容を抜粋して紹介する。

【138社で合計464台を保有(回答企業の約6割がA3機を設置)】

アンケートには、印刷工業会、全日本印刷工業組合連合会、日本フォーム印刷工業連合会、日本グラフィックサービス工業会、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会、全日本シール印刷協同組合連合会、全国グラビア協同組合連合会、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会の各団体の組合員企業から191社が回答。

今回は、回答191社の内、モノクロ出力10万ページ/月(A4換算)以上、またはカラー出力5万ページ/月(A4換算)以上と月間出力ページ数が多い企業38社を「ベストプラクティス企業(以下、上位G)」として別集計し、比較考察している。

【保有比率では印刷方式・サイズに大差なし】

デジタル印刷機生産機の保有台数・稼働状況については、回答企業191社の72%にあたる138社が合計464台のデジタル印刷機を保有し、1社平均の保有台数は3.4台となる。また5台以上または、それ以上保有という回答も4件あった。

また上位Gの38社では、213台で1社平均5.6台を所有。上位Gの機械台数は、全体平均の1.6倍程度であるが、上位Gが大きなプリントボリュームを実現しているのは、生産能力の高い設備導入が要因と考えられる。

印刷方式では、「トナー方式」が292台で全体の63%。「イ

ンクジェット方式」が160台で34%。上位Gでは、「トナー方式」が161台で75%。「インクジェット方式」が40台で19%となっている。

サイズ別の保有台数では、「A3サイズ」が258台で全体の57%、「その他のサイズ」が125台で28%、「A4サイズ」が40台で9%。上位Gも同様に「A3サイズ」が120台で59%と最も多く、次に「その他のサイズ」が52台で25%となった。

色数別の保有台数では、カラー機が307台で67%、モノクロ機が138台30%。上位Gでは、カラー機が111台で52%、モノクロ機が90台で42%。

この結果からデジタル印刷機の種類を比較すると全体と上位Gでは、印刷方式(トナー/インクジェット)、サイズともに大きな差がないことが判明した。また色数については、上位Gの方がモノクロ機の設置台数の比率が4割ほど多い結果となった。

【商業印刷以外の用途でバラツキ】

デジタル印刷機で印刷した売上高1位の印刷品目の問いに対し、全体集計では、1位が「商業印刷」で25%、次いで「事務用印刷」が22%、「シール・ラベル印刷」が10%、「データプリント」9%となった。

上位Gでは、「商業印刷」が28%、続いて「出版印刷」が18%、「その他」15%、「ブックオンデマンド」が13%と、全体、上位Gともに売上上位の印刷品目は商業印刷となっているが、2位以降は大きく異なっている。この結果から上位Gでは、「個人別対応」テキストから「多品種大量」教材出版なども含めて、専用システム化、インライン化された生産システムによるビジネス展開が想定される。この回答からは、大きな設備投資を伴う場合もある一方、短期契約で応えざるを得ない苦しい側面もあることも推察される。

また、デジタル印刷ビジネスの推進役についての問いに対しては、全体集計では経営者が16%、役員クラスが14%、



●印刷機械
●製本機械
●製本機械
●DTP関連機
●印刷諸材料
●データ制作
●オンデマンド印刷
●データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合商社

株式会社 盛功社
SINCE 1983

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社
メイカミ
名古屋紙商事株式会社
社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

部課長クラスが12%。上位Gにおけるカラー機の推進役は「経営者」27%、「役員クラス」18%、「部課長クラス」15%で、モノクロ機でも同様に「経営者」26%、「役員クラス」17%、「部課長クラス」15%という結果となった。

【異なる導入促進の条件】

デジタル印刷機導入促進に必要なことへの問いに対して、全体集計では、「セキュリティで信頼度を上げる」10%、「その他」9%、「1人3台以上の出力機を稼働」7%、「優秀なIT協力先」7%、「画像品質」7%、「ワークフロー」5%となった。

上位Gにおけるカラー機導入促進に必要なことでは、「提案型営業育成または人材確保」12%、「バリエブル出力対応力」12%、「ハイブリッド印刷」10%、「IT教育または人材確保」9%、「顧客の啓発」9%、「極小ロット対応」8%、「工程管理の自動化」7%であった。

また、モノクロ機導入促進に必要なことについては、「顧客の啓発」13%、「バリエブル出力対応力」12%、「提案型営業育成または人材確保」12%、「IT教育または人材確保」10%、「工程・管理の自動化」8%、「ハイブリッド印刷」8%となった。

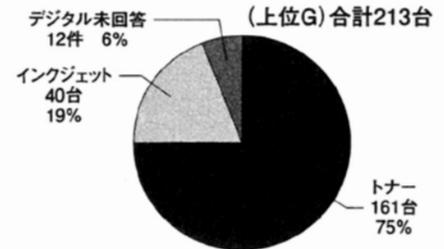
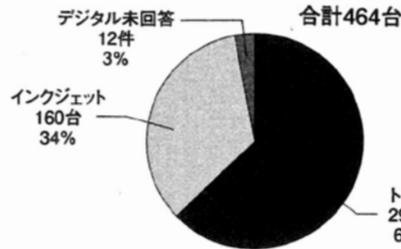
これらの結果から、デジタル印刷の推進役について大きく異なるのは、上位Gでは経営者・役員が合計43～45%であるのに対し、全体集計では30%と少なく、経営陣の強力な意志が重要であることが推察される。

また、デジタル印刷の導入促進について、上位Gでは「顧客啓発、提案型営業、IT教育、バリエブル出力、ハイブリッド印刷、工程の自動化」の回答が6割を占めている。

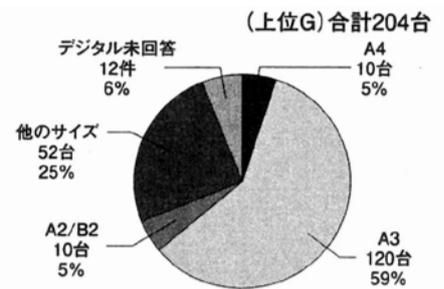
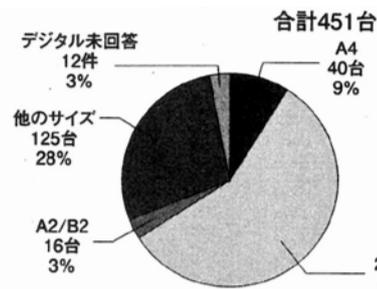
調査団体

団体名	アンケート 発送数	アンケート 回答社数	回収率	デジタル印刷機 保有社数	デジタル印刷機 保有比率
印刷工業会	91件	30件	33%	21件	70%
全日本印刷工業組合連合会	268件	66件	25%	53件	80%
日本フォーム印刷工業連合会	117件	26件	22%	21件	81%
(社)日本グラフィックサービス工業会	49件	10件	20%	10件	100%
日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会	49件	11件	22%	11件	100%
全日本シール印刷協同組合連合会	98件	16件	16%	12件	75%
全国グラフィア協同組合連合会	50件	19件	38%	3件	16%
全日本スクリーンデジタル印刷協同組合連合会	65件	13件	20%	7件	54%
合計	787件	191件	24%	138件	72%

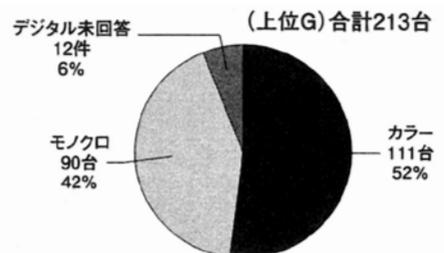
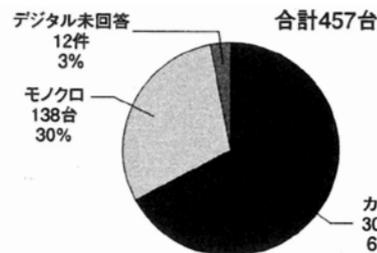
方式別保有台数



サイズ別保有台数



色数別保有台数



全体集計では、「セキュリティ、1人3台稼働、IT協力先、画像品質、ワークフロー」など、生産側の課題が多く挙げられる結果となった。

カラーもモノクロもページもの印刷得意です

◎厚紙印刷菊全4色0.8mmまで可
◎PP貼のみの仕事引き受けます

データから印刷・製本・発送まで自社一貫体制

大日印刷株式会社
0564-62-8461 (代)
FAX 0564-62-8463

幅広いニーズに対応するキャパシティと工場24時間稼働体制でサポート

- OFFSET PRINTING
- UV PRINTING
- POST CARD・ENVELOPE
- BUSINESS CARD
- SEAL・覆札加工
- OUT SOURCING

印刷ステーション **DAIKYU**

株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL 052-262-0555 FAX 052-262-1043
関連会社/ ㈱ ミニカラー印刷・ ㈱ 太急・ ㈱ 山川

総代会(5月16日) 上程議案を審議

新入社員研修カリキュラムの助成金
断裁機オペレーターの実技教育実施



平成26年度4月期理事会(第1回)が4月21日午後3時30分よりメディアージュ愛知3階会議室において開催された。理事会では、5月16日に開催される平成26年度通常総代会に上程される事業計画及び収支予算、平成26・27年度執行部及び役員、今後の行事予定などが審議された。(編集部：来月に開催される総代会において詳細を報告するため、ここでは主だった事項のみ詳報)。

理事会は、河原善高専務理事の司会で、木野瀬吉孝理事長が「本日は、総代会に向けての理事会であり、審議の程よろしくお願ひしたい」と挨拶。規定で理事長が議長を務め議事が進められた。

平成26年度通常総代会議案及び提出書類について、「事業報告」、「決算報告」、「事業計画」、「予算案」、「平成26年度経費の賦課金及び徴収方法」、「定款の一部変更」、「支部の設置及び運営に関する規約の一部変更」、「常勤役員報酬額」、「平成26・27年役員」、「事業委員会構成」、「今後の行事」などについて審議がされいずれも承認された。

この中で、定款の一部変更の件では、「岡崎支部と西三河支部の合併により、西三河支部の地域を岡崎支部に編入すること及び東北支部並びに東三河支部の組合員の減、東尾張支部の組合員増に伴いそれぞれの支部の総代数を変更する」。また、支部の設置及び運営に関する規約の一部変更では、「岡崎支部と西三河支部の合併により、西三河支部の地域を岡崎支部に編入すること、及び市町村合併による新設市を追加する

とともに、廃止された郡名を削除し、支部の地域名を整理するために変更する」などがそれぞれ承認された。

＜今後の行事予定＞

■新入社員研修会助成金

「新入社員研修会」カリキュラムの参加にあたって、助成金の活用が案内された。それによると、今からでも活用申請ができるものとして、「若手人材育成コース」、「一般訓練型」があり、いずれも20時間以上参加の場合に活用ができ、新入社員以外の社員でも活用が可能である。(編集部：活用の詳細は4ページに掲載)

■断裁機オペレーター特別教育

断裁機オペレーター特別教育の支部における「実技教育」実施にあたっての組合からの講師派遣が紹介された。組合は、「①講師及びアシスタント派遣、②配布資料のデータ提供、③修了証の発行」を行う。具体的内容は以下のごとく。

■実施は、「支部事業」として行う。

■1回の実施所要時間180分(予定)。

■実施の基本料金60,000円。

■基本料金の内容/講師：1名(組合実施の「指導者講習」修了者)、アシスタント：1名(労務・新人教育委員)、傷害保険：参加者全員分、修了書の発行手数料：組合で「実技教育」についての修了書を発行。

■実施要領/①会場設営費及び材料費は支部で負担、②実施人数は【1回1組5名×2回まで/1日】、使用する断裁機は1台とする、③昼食を伴う場合の食事代は講師及びアシスタ

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



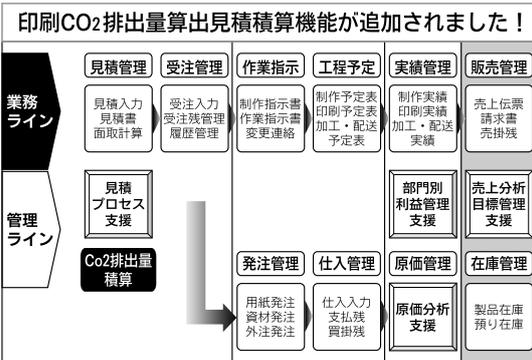
P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』

『今こそ!!情報の見える化(MIS)』



株式会社
モトヤ

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 TEL. 06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 TEL. 03-3523-8711

■補助金
情報

ものづくり・商業・サービス補助金

「新陳代謝型及び取引環境改善型需要開拓支援事業」

ものづくり・商業・サービス革新事業の「新陳代謝型」及び「取引環境改善型需要開拓支援事業」について、補助事業が新たに発表された。

【新陳代謝型補助金】

◎補助対象者：中小企業・小規模事業者で、以下①～⑤の要件を満たす者。①老朽化設備の更新・増強、②金融機関からの資金調達、③設備投資額が総資産の15%超の大規模な設備投資、④金融機関からのフォローアップを受ける、⑤他の補助金との併用がない。

◎補助対象事業：老朽化した印刷機械などの設備入れ替えによる大規模設備投資に要する借入額の1%相当額を補助。

◎補助額：大規模設備投資額における金融機関からの借入額1%相当。

◎補助金受け取り：融資直後に0.5%、事業進捗報告後(1年後)に0.5%。

◎申請受付期間：平成26年3月20日～9月12日(予算がなくなり次第終了)。

◎申請書提出先：資金調達を行なう各金融機関。

◎問い合わせ先：全国中小企業団体中央会。

【注意点】

「老朽化設備」とは、法定耐用年数を超過した既存設備を指す(印刷機械10年)。設備投資計画において、「老朽化設備を更新・増強するための投資額」+「総投資額のうち、土地を除く投資額」の割合が50%以上であることが必要。設備資金は償還年数が1年以上で1年後のフォローアップ時に残高がある長期資金のみ。

る長期資金のみ。

【取引環境改善型需要開拓支援事業】

◎補助対象者：取引先の閉鎖・縮小により売り上げ減少が見込まれる中小企業。①取引先が過去3年以内に閉鎖または申請日以降3年以内に閉鎖予定、②取引先が過去3年以内に縮小または申請日以降3年以内に縮小予定、③上記①または②で、取引先の閉鎖後の申請者の年間売り上げが前年比▲10%以上が見込まれること、④補助金申請時の雇用数を補助事業終了時点まで維持すること。

◎補助対象事業：市場調査、試作・開発、設備投資、販路開拓など、新たな取引先企業を開拓する取り組みへの補助。

◎補助額：最大1,000万円(補助率2/3)。

◎補助事業期間：交付決定から平成27年3月31日まで。

◎申請受付期間：平成26年3月14日～随時。

◎問い合わせ先・申請書提出：取引環境改善型需要開拓支援事業事務局

(0120-501-1975 <http://www.torihiki-kaizen.jp/>)

【注意点】

既に閉鎖などの事象が生じている場合、現時点において売り上げが回復している場合は不可。閉鎖など時点を基準日とした年間売上高「A」と、申請時点を基準日とした年間売上高「B」の対比で10%以上減少する計算。計算式は(A-B/A)×100=減少率(%)

ント分を支部で負担。

■参加者を支部で纏め、実施の10日前までに「参加者名簿」を事務局まで送付。「傷害保険」の申し込みと「修了証」の作成のため。

■「学科教育」未修了者でテキストのない方は実費1,080円で販売。必要部数を取りまとめ事務局へ申し込みを。

■その他、問い合わせ・申し込みなどの詳細は、愛印工組(担

当：高屋)まで。

■第5回ポスターグランプリコンペティション

第5回ポスターグランプリコンペティションは、テーマを「『伝える』～伝えよう、あなたの想い～」とし、応募期間を8月20日(水)～9月6日(土)必着。一般の部(プロ・アマ不問)、大学生、専門学校生の部、高校生の部の各部門において、広く応募を呼掛ける。



Giving Shape to Ideas

ヨミカミノルタに全てお任せください。

色校正



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

デジタル印刷



Falboard AQUA®

環境対応プレート
ケミカルレスCTPシステム



bizhub PRESS c7000

環境対応プレート
ケミカルレスCTPシステム



BLUE EARTH®

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 PPG営業統括部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL. 052-229-4624(代)

日本印刷産業連合会は毎年9月を「印刷の月」と制定し、印刷産業の役割を広く社会にアピールするとともに、業界内の意識高揚を図っている。印刷産業への認識・理解を深め、イメージ向上に繋がるもの、あるいは、情報・文化・生活の担い手として印刷産業を的確に表現できるコンセプトのポスターデザインを求めている。

【応募概要】

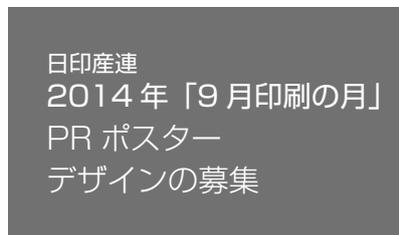
◎応募対象者：一般部門／日印産連会員団体、企業のクリエイターやデザイナーなど。学生部門／グラフィックデザイン専門学校学生、美術学校学生など。

◎募集期間：平成26年6月27日(金)

◎ポスター規格・色数：規格／B2サイズ(縦)、使用色数／標準4色(採用された場合の用紙はコート紙(マットコート紙)を使用)

◎ポスター必須文字：▼タイトル「9月

印刷の月」ex「9月は印刷の月」などのバリエーションは可。▼キャッチコピー「Printomorrow～明日のいいこと、印刷から～」。▼行事案内「2014年9月印刷の月」講演会、記念式典、懇親会。▼その他／①ポスターのコンセプトやコピーなどの



掲載は自由、②入賞作品には追加文字の制作あり。

◎提出方法：インクジェットあるいはカラープリントなどデジタル対応ブルー(簡易色校正紙)1枚提出。〒、住所、氏名、年齢、電話番号、会社(学校名)、所属部署(学

部)を明記し同封。応募用紙はホームページの「コンテスト・募集」の掲載。

◎提出先：一般社団法人日本印刷産業連合会PRポスターデザイン募集係
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
TEL03-3553-6051 info@jfpj.or.jp

◎入賞者の発表：平成26年7月末日

◎応募費用：無料

◎付随事項：①作品は自作未発表に限定。

②最優秀作品は2014年「9月印刷の月」PRポスターとして使用。③最優秀作品受賞者は2014年「9月印刷の月」記念式典において表彰。④応募作品は返却しない。

◎授与賞と副賞：最優秀賞／賞状・賞金20万円1点。優秀賞／〔一般部門〕賞状・賞金5万円2点以内。〔学生部門〕賞状・賞金3万円2点以内。佳作／〔一般部門〕賞状・賞金2万円2点以内。〔学生部門〕賞状・賞金1万円2点以内。

■お知らせ

日本印刷学会中部支部・印刷工場見学会
印刷の“未来”を見て学ぶツアー

日本印刷学会中部支部は、(株)金羊社「御殿場工場」と富士フィルムグローバルグラフィックシステム(株)「FFGS WING CITY ashigara」の見学会を開催する。愛知、岐阜、三重各印刷工組及びGC中部が共催。

金羊社御殿場工場では、中堅・小規模印刷企業における枚葉オフセット印刷の先進モデル工場の優れた点を見学。FFGSでは、小ロット多品種に強みを発揮するデジタル印刷やパッケージ印刷の未来像を体感。

日時：5月30日(金)8:00～21:40(帰

着予定)

場所：金羊社御殿場工場、富士フィルム定柄工場内・FFGS WING CITY ashigara
交通機関：観光バス

会費：1人7,000円(昼食付)

定員：30名(申し込み順)

申し込み方法：愛知県印刷工業組合内(社)日本印刷学会中部支部TEL052-962-5771 FAX052-951-0569

■訃報

不二印刷工業(株)代表取締役関谷和宏氏のご母堂 関谷郁子氏は4月1日に逝去されました。

フジ印刷(株)会長 三浦芳郎氏は4月17日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

■編集だより

□短い桜の時期が過ぎ、新緑が目にしみる時期になりました。

□新入社員研修会がスタートしました。初日から講師を務めた松石氏の講演内容を聞いていると、当たり前のことを話されているのに、何か新鮮さを感じました。それというのも、スマホやパソコンで用を済ませ、以前のように、人と人とのコミュニケーションを大事にしていたのがいつの間にか薄れ、利便性のみを追求している今日この頃の行動に、警鐘を鳴らしてくれたような気がします。



あいの印刷

No.510

平成26年5月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番2号
メディアージュ愛知1階
TEL <052> 962-5771
FAX <052> 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

The Design
which affects a person beautifully.

美しく、人に響く
デザインを

ホームページ
折込チラシ
ポスター
カタログ
パンフレット
ステッカー
パッケージ

adWISE

株式会社 アドワイス

〒451-0062 名古屋市西区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F

TEL 052・523・1257 FAX 052・523・1258 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL: www.heart-group.co.jp



プロダクションユースに応えるフルカラー・オンデマンド印刷機

モリサワ

RISAPRESS Color 700

プロダクションプリント
マーケットに
新しい価値を創造します



1200dpiの高解像と高生産性の両立

高品位印刷を可能にしたスクリーン処理

最後の1枚まで美しさが変わらない色再現性

用紙対応力の強化

PODに必要な高機能を搭載したコントローラ

豊富なオプションでシステム構築の最適化

株式会社モリサワ 本社: 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151

http://www.morisawa.co.jp

印刷健保は、みなさんの健康を守ることを第一とし、
健診と保健指導を健康づくりの柱として力を入れていきます。

●ジェネリック医薬品のススメ

皆様のご協力によりジェネリック医薬品に切り替えれば、医療費は削減できます！



全国印刷工業健康保険組合東海支部

〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12 メディアージュ愛知2F

TEL 052 (961) 6856 FAX 052 (961) 2934

ホームページアドレス http://www.insatukenpo.or.jp



新時代のコミュニケーションツールに キングアイテムがお応えします！

封筒・名刺のことならデザインから印刷まで
トータルでおまかせください。

完璧なシステムとノウハウ
それがキングコーポレーションです。

- 封筒 ●名刺用紙 ●はがき用紙 ●カード用紙
- 婚礼用紙製品 ●葬儀用紙製品 ●賞状・株券・領収証用紙
- カレンダー・年賀状 ●DTP名刺印刷システム
- OA機器 ●OA サプライ用紙



株式会社キングコーポレーション

<http://www.king-corp.co.jp>

本社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目7番23号 TEL.052-961-7661 FAX.052-961-7662

- | | | |
|------------------------------|------------------------|--------------------------|
| ■名古屋本店 TEL.052-444-7161-7151 | ■金沢支店 TEL.076-242-3294 | ■鹿児島支店 TEL.099-252-7420 |
| ■仙台支店 TEL.022-284-6688 | ■大阪支店 TEL.06-6771-5568 | ■札幌営業所 TEL.011-757-1102 |
| ■東京支店 TEL.03-3864-3861 | ■神戸支店 TEL.078-611-5400 | ■青森営業所 TEL.017-764-1140 |
| ■横浜支店 TEL.045-929-2721 | ■広島支店 TEL.082-235-0202 | ■浜松営業所 TEL.053-462-8511 |
| ■静岡支店 TEL.054-265-3300 | ■福岡支店 TEL.092-612-3861 | ■さいたま支店 TEL.048-844-6622 |



Origin & Revolution

KOBUNDO

原点、そして未来へ。

オフセット印刷 品質検査装置

ラブ・ビジョン

KBD Lab-vision®

機能・品質・デザインひとつも妥協しないハイエンド検査装置。
枚葉オフセット印刷機に！



自動用紙排紙装置 LESAシリーズ

リザー

KBD LESA®

油性薄紙からUV厚紙まで
品質検査装置と連動した画期的
排紙装置



Lab-vision と連動して不良紙を
自動排紙、抜き取り検品も容易に自動化！

特許申請中

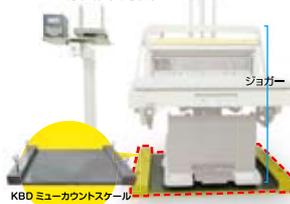
重量式計数装置

KBD μ-Count Scale

ミューカウント スケール

サンプル用紙計測機

MSC-1
MSC-2



汎用ジョガー
対応

用紙を載せるだけで自動計数
断裁作業の迅速化に貢献

オゾンレスUV装置

KBD イージックス

高感度インキに対応した
オゾンレスでエコロジーなUV装置



印刷機排紙部に160W/cmのランプ1灯でただちに乾燥が可能。
既設の印刷機への取付けもできるため、コストパフォーマンスが
高く、売上UPに貢献するシステムです。



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL.052 (331) 4111 (代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

<http://www.kobundo.co.jp>